

令和4年度 特色ある道德教育推進校

県立我孫子高等学校

研究主題

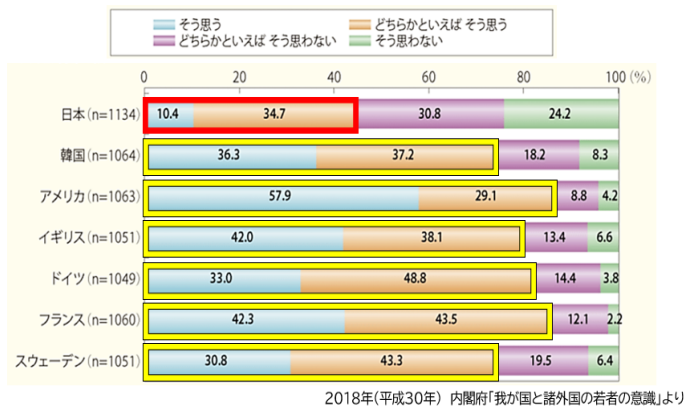
持続可能な社会の創り手として活躍できる生徒の育成を目指した道德教育の在り方

取組1 「道德」を学ぶ時間の指導の工夫

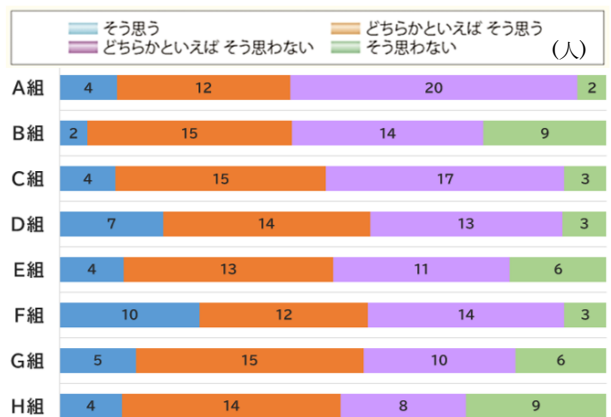
工夫1 Microsoft Forms で我孫子高校1年生アンケート調査

内閣府「我が国と諸外国の若者の意識」（平成30年）を参考に、「我孫子高校の生徒の意識に関する意識調査」を作成し、実施した。内閣府の調査の「自分自身に満足している」の項目と比べると我孫子高校1年生の方が自己肯定感が日本の平均よりも高い傾向にあるが、諸外国と比べると低いことがわかった。

「自分自身に満足している」諸外国の回答結果を見てみると…



「自分自身に満足している」我孫子高校1年生の回答結果は…



工夫2 本校ALTへのオリジナルインタビュー映像

在留外国人が日本の社会に貢献していることの一例として、本校ALT（セピ先生）（イラン出身）のインタビュー動画を作成した。動画では、セピが①我孫子高校で楽しみながら教えられること、②日本での生活に満足していること、の2点が述べられる。動画視聴後、なぜセピがそのような好意を抱いているのか、その理由を考えた。

さらに外国人の受け入れにおいて、セピのような例ばかりではないことにも意識を向けるため、言語の壁に苦しむ外国人をサポートする団体に焦点を当てた動画を見てブレインストーミングを行い、ディスカッションすることにより、在留外国人と共存していくために、私たちにできることは何かを考えた。

在留外国人を代表して…



Q：我孫子高校で教えていて、印象はどうですか？

工夫3 話し合い、様々な意見集約・共有の方法を採用

- 今回の研究授業では、1学年7クラスで実施したが、生徒の意見集約等は、ICTの活用も視野に入れつつ、様々な手法を取り入れた。実際に行われていた方法を紹介する。
- 模造紙…グループで出した意見を模造紙にまとめ、黒板に貼ることでクラス全体に共有した。
 - 板書…グループで出した意見を発表し、板書し、全体に共有した。
 - Microsoft Teamsのチャット機能…クラスの生徒が自由にコメントを打ち込むことができ、匿名性が高く、自分の意見を発表するハードルが低くなるメリットがあった。
 - Microsoft Power Automate…生徒各自が入力、入力結果をプロジェクターで投影しつつ、授業者がコメントした。

取組2 学校教育全体を通じた道徳教育の充実

道徳教育全体計画

令和4年度 道徳教育の全体計画			
関係法令 ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法	学校の教育目標 ① 高い知性・自ら発信する力を持ち、理性的判断力と国際感覚に富む人材の育成 ② 豊かな情操・自他の敬愛心を持ち、新鮮な感受性に富む人材の育成 ③ 逞しい心身・強固な身体を持ち、積極的な実践力に富む人材の育成	授業・生徒の実態 授業・行事・部活動に真摯に取り組む。学校生活に満足している一方、よりきめ細かい指導とコミュニケーションを求めている。	地域の実態・願い 地域の教育への関心は高く、本校のきめ細かい指導に対する支持は強い。より良い道徳実践への期待が強い。
保護者の願い 生徒の活発な活動状況と学校の指針に満足しつつも、よりきめ細かい指導と、学校・家庭・地域の連携を求めている。	道徳教育の重点目標 千葉県における「道徳教育推進のための基本的な方針」に基づき、1. 郷土と国を愛し、豊かでおおらかに、自信にあふれた頼もしい人間として成長し、真の国際人として活動できるように内に根ざした道徳教育の実現を図る。2. 生涯活動や放課活動、体験活動や社会参加活動を通して、より深く考え、実践力を身につけられるよう、家庭や地域と連携する。		
	「道徳」を学ぶ時間の概要(教育課程上の位置付け・学習内容等) 年間指導計画に基づき、計画的・発展的な指導のもとに特別活動や総合的な探究の時間を通して自己の生き方を考える態度を育てる。		
各教科・科目	各学年(年次)の重点目標	総合的な探究の時間	
国語 国語を適切に表現的に理解する能力を育成し、伝えあう力を高め、思考力を伸ばし心豊かにする。	1 学校行事、学年行事、学級活動及び「道徳」を学ぶ時間を活用し、互いに認め合う態度を育成するとともに良好な人間関係を築かせるようにする。	高校生としての自立した自己の確立をめざし、校外学習などを利用して集団への適応力を身につける。また、上記学校行事やフィールドワークなどを通じて、マナーの確立と自己実現の方便を探究し、道徳講演会や道徳ガイダンスにより、自己の将来や生き方について考える。	
地理 人間社会の歴史の基礎的な理解の上に、人間としての尊厳を第一に考え、その在り方や生き方を考える。	2 学校行事、学年行事、学級活動を通じて協力し合い、互いに認め合う態度の育成とともに、修学旅行を通じて異文化理解について学び、広い視点で人権や福祉、国際理解等について考えることができるように指導する。	特別活動 ・文化祭、体育祭等の行事を通して、集団でまとまり、長い期間にわたって計画的に行動し、成果を達成することを学び、社会を発展させる人材の育成に努める。	
現代社会の基礎的な理解の上に、人間として尊厳を第一に考え、その在り方や生き方を考える。	3 学校行事、学年行事、学級活動を通じて協力し合い、互いに認め合う態度を育成するとともに、社会人としての基本的マナー、モラルを習得できるように指導する。	・修学旅行等を通して人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を養う。また、合わせて伝統文化を尊重し、公共の精神を尊ぶ姿勢を養うことを目標とする。 ・人権講演会等を通して、社会の一員としての自己のあり方について考える。	
数学 数学的活動を通して、事象を数学的に考察し、また論理的に思考する能力を高めて、数学的論拠に基づいて判断する態度を育成する。	4 学校行事、学年行事、学級活動を通じて協力し合い、互いに認め合う態度を育成するとともに、社会人としての基本的マナー、モラルを習得できるように指導する。	・スティーブ・ジョブズ伝記等に主体的に取り組むことにより、物事に打ち込むことの大切さと、協力し助け合い、仲間を思いやる心を育てる。 ・より高い目標に向かって、負けずじみたゆまなく、あきらめずに努力する姿勢を養い、社会を支える人材の育成を図る。	
理科 自然現象や環境問題を巡って、人間の役割や責任を考えた積極的に行動できる人材を育成する。	5 学校行事、学年行事、学級活動を通じて協力し合い、互いに認め合う態度を育成するとともに、社会人としての基本的マナー、モラルを習得できるように指導する。		
健康 健康についての理解と運動の合理的な実践を通して健康の増進と体力の向上を図り豊かな感受性を育てる。	6 学校行事、学年行事、学級活動を通じて協力し合い、互いに認め合う態度を育成するとともに、社会人としての基本的マナー、モラルを習得できるように指導する。		
芸術 芸術の幅広い活動を通して、芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、豊かな情操を育てる。	7 学校行事、学年行事、学級活動を通じて協力し合い、互いに認め合う態度を育成するとともに、社会人としての基本的マナー、モラルを習得できるように指導する。		
実践的なコミュニケーションを円滑にする態度及びその能力を育成するとともに、自他の人格を尊重する人材を育てる。	8 学校行事、学年行事、学級活動を通じて協力し合い、互いに認め合う態度を育成するとともに、社会人としての基本的マナー、モラルを習得できるように指導する。		
生活 生活の尊厳を学び、男女お互いの異性性について理解を深め、人格を尊重し、協力して充実した生き方を追求する。	9 学校行事、学年行事、学級活動を通じて協力し合い、互いに認め合う態度を育成するとともに、社会人としての基本的マナー、モラルを習得できるように指導する。		
情報 情報に関するマナーやモラルを守るとの重要性を理解させ、望ましい情報化社会のための必要不可欠なことを学ばせる。	10 学校行事、学年行事、学級活動を通じて協力し合い、互いに認め合う態度を育成するとともに、社会人としての基本的マナー、モラルを習得できるように指導する。		
専門	道徳の授業参観及び研究協議を行う。		

「道徳」を学ぶ時間 年間指導計画

特別活動		学校行事・生徒会活動		総合的な探究の時間			
月	日	内 容	時数	日	内 容	時数	
4月	8	新入生オリエンテーション	3	7	入学式	1	
	11	新入生オリエンテーション	2	8	学年集会	2	
				13	学年集会	2	
5月					11	「社会の中の私」	1
6月	8	DVD教材「青春のホイール」	2		22	進路学習「進路適性を考える」	1
	22	「公共マナーについて」	1				
	29	「集団の中での役割について」	1				
7月				15	学年集会	1	
				19	交通安全講話	1	
9月	28	DVD教材「インターネットリア」	1	14	学年奉仕活動	1	
10月	12	読み物教材「明日への扉Ⅲ」	1		12	進路学習「自分の将来を考える」	1
11月	2	読み物教材「明日への扉Ⅲ」	1	9	進路講演会	1	
	9	読み物教材「学年新聞」	1	16	学年奉仕作業	1	
				20	人権講話	2	
				21	学年集会	1	
				22	防災訓練・講話	1	
12月	18	読み物教材「明日への扉Ⅲ」	1				
1月				15	卒業生講演会	2	
2月				8	卒業式	1	
3月				22	学年集会	1	

「高い知性」「豊かな情操」「逞しい心身」を掲げ、知・徳・体のバランスの取れた生徒の育成をするため、総合的な探究の時間や特別活動の時間を有効に活用して道徳教育を推進している。今年度の総合的な探究の時間では、SDGsを取り扱い、情報収集、まとめ、研究発表を行った。特にSDGsの目標の一つである「人や国の不平等をなくそう」を取り上げ、道徳教育と関連させ、授業を行った。

主な成果(○)と課題(●)

- ペア・グループワークを通して、自己肯定感を高めることが出来た。
- ALTへのインタビュー動画視聴や各発問に対する意見交換をグループで実施したことで、社会問題への理解を深めることができた。
- 生徒の自己肯定感をさらに上げるため、学校全体での取り組みが必要であると感じた。

授業実践事例

千葉県立我孫子高等学校 1年 「道徳」を学ぶ時間指導案

1 主題

自己肯定感を高め、社会参画への関心を高める（県の視点「かけがえのない自分」「支え合う喜び」「つながる未来」）

2 ねらい

- (1) 生徒の自己肯定感を高めつつ、それが何につながるのかという点まで理解を深める。
- (2) 日本と諸外国のデータを、客観的観点から分析し考察することができる。
- (3) 日本における社会問題への理解を深め、その解決に向けた方策や取り組む姿勢を考える。

3 主題設定の理由

自己肯定感自分自身への信頼の度合いの高さを表すだけでなく、社会参画への関心・興味の増幅にも結び付く。そして、社会への希望を見出せば、我が国が直面する問題への解決に向け、主体的に動けるようになると考えた。

4 展開（1時間目）

	生徒の学習活動と主な発問	予想される反応	指導上の留意点
導入 10	1. スマートフォンを出し、Microsoft Forms に用意された「我孫子高校の生徒の意識に関する意識調査」を行う 2. パートナーと組み、1分間の自己アピールを行う <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">自分のアピールポイントを可能な限り挙げてみましょう。</div> 3. 相手を褒める時間を取る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">パートナーを褒めましょう。性格でも身に付けている物でもかまいません。</div> 4. 別のペアを見つけ、別のペアに対してパートナーの他己紹介を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・明るいところ！ ・むずかしい！ ・アピールポイントが無い… ・イヤな点なら話せる… ・やさしい！ ・仲良くしてくれる！ ・履いている靴、カッコいい 	<ul style="list-style-type: none"> ・Forms を操作できない生徒への対応ができるようにしておく。 ・調査結果を確認できるようにセッティングしておく。 ・性格だけでなく、特技や趣味なども長所になり得ることを伝える。 ・「ネガティブ禁止！」と伝え、相手を貶める内容は禁止する。 ・性格だけでなく、特技や趣味なども長所になり得ることを伝える。
展開 35	5. 意識調査の質問「自分自身に満足している」の項目を考える 6. 肯定的に答えた日本人の割合が 45.1%であることを伝え、これが高いのか低いのか考える。その後、教室内で意見の共有をする <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">肯定的に答えた日本人の割合は 45.1%いました。ところで、これは高いのでしょうか、低いのでしょうか。</div> 7. 諸外国の結果を見せ、日本だけ肯定的な回答の割合が少ない理由を考える。ワークシートに自分の意見を記入する。その後、教室内で意見の共有をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">肯定的に答えた日本人の割合は 45.1%でしたが、諸外国と比べると明らかに低いです。それでは、なぜこんなに低いと思いますか。</div> 8. 「自分自身に満足している」と「自分には長所がある」では諸外国との差は見られたが、「自分は役に立たないと強く感じる」では大きな差が無いことを伝える	<ul style="list-style-type: none"> ・高いと思う。日本人って謙虚でシャイだから。 ・低いと思う。自分に自信を持ってない ・自分に自信を持ってない人が多いから。 ・「私、自分のこと満足！」って周りに言うとお意識過剰なんじゃないって思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを明らかにするため、ワークシートに理由も含めて記入させる。 ・自分の考えを明らかにするため、ワークシートに理由も含めて記入させる。 ・話し合いをするときは、グループで行う。
結論 5	9. 高い自己肯定感と社会参画への意識の相関関係を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">「自己肯定感」というのは、自分の内面だけでなく、社会への関心や、問題解決への意識にも影響することが分かります。自己肯定感を高めると、現在、探究で行っている「SDGs」についての関心もさらに広がってくるかもしれませんね。</div>		<ul style="list-style-type: none"> ・授業を振り返り、今の自分の考えをワークシートに書かせる。

5 展開（2時間目）

	生徒の学習活動と主な発問	予想される反応	指導上の留意点
導入 5	1. 前回(10月26日)の振り返りを行うと共に、Formsを用いて実施したアンケートの結果を開示する 前回実施したアンケート結果をまとめましたので見てみましょう。私たちのクラスはどうでしょうか。 我孫子高校の生徒はこうなっています。クラス別に表示します。 最後に、「社会の問題解決に関与したい」の項目です。日本全国と諸外国の差を再確認してみましょう。 これらを踏まえて、『自己肯定感』と『社会への関心・社会理解』の度合いには相関関係が見いだせるかもしれないというのがまとめでした。	・大して差が無いかな… ・うちのクラス、低っ！ ・意外とクラスで差が出るものなんだ ・全体的に高い！	・前回の確認を行いながら、必要に応じて、我孫子高校のアンケート結果を開示する。 ・クラス間の比較は良いが、優劣の決定にならないようにする。 ・本時の主題に結びつけられるように、スムーズに展開する
展開 40	2. 「社会理解」のブレインストーミング テーマ1: 「社会理解」について、あなたが思い浮かべるキーワードは何ですか？ 3. パートナーとキーワードの共有を行う。 4. 「異文化理解」への関心を寄せる いろいろありますが、まずは「異文化理解」に焦点を当てましょう。というのも、グローバル化が進んだ国際社会の一員として役割を果たすのなら、「異文化理解」は社会への関心の第一歩だと考えられるからです。 5. 日本全国と諸外国の結果比較を見せる 日本全国の回答は実に低いことがわかります。諸外国と比較しても、圧倒的に低いです。 6. ディスカッション テーマ2に移る。 テーマ2: あなたにとって「異文化」とは何ですか？ 定義してみましょう！ 7. 「異文化」に対する疑問を示す みなさんに定義していただきましたが、そもそも①「異文化」って外国に行かないと学べないのでしょうか。また、②「異文化」って必ず外国が絡んでいないといけないのでしょうか。最後に、③「異文化」が日本国内でも体験することだとしたら、どんな形で体験するのでしょうか。日本国内で「異文化」をどのようなときに体験するのでしょうか。 8. ディスカッション テーマ3に移る テーマ3: 「異文化」が日本国内でも体験することだとしたら・・・どんな形で体験するの؟؟ 10. 本校のALTであるセピのインタビュー動画を見る 11. ディスカッション テーマ4に移る。 テーマ4: なぜ、セピは「我孫子高校でもっと教えたい!」と感じているのでしょうか。 いろんな考えが出ましたね。一つ言えることは、みなさんが授業内でセピに対して親切にしているから、我孫子高校で来年も教えたい!と感じているんですね。 12. テーマを「少子高齢化社会」に移す ここで、在留外国人と関連するトピックとして、「少子・高齢化社会」の問題について考えてみましょう。現在、約1億2千万人いる人口も、2065年(みなさんが還暦を迎えるころ)には9000万人を下回ることが予測されています。少子高齢化を抱えた国々、たとえばドイツや韓国では、移民政策に動き出しています。 13. 「言語難民」の動画を見せる 先ほどは、セピのインタビュー動画を見てもらいました。セピが語った内容は、ポジティブな側面が多かったです。しかし、困難を抱えた人たちもいます。「言語難民」という問題です。今から、「言語難民」に関する動画を流します。 14. ディスカッション テーマ5に移る。 テーマ5: 在留外国人と共存していくために、私たちの社会がすべきことは何でしょうか。 ・日本語を学べる環境を整える ・異文化理解を深める ・案内板とか標識とか、言語の数を増やす	・グローバル化! ・人口減少とか少子高齢化とか? ・自分の考えを明らかにするため、ワークシートに理由も含めて記入させる。 ・キーワードが出ない場合、話し合いを切り上げて次のスライドに移る ・自分の考えを明らかにするため、ワークシートに理由も含めて記入させる。 ・自分たちの行為によってセピがポジティブに考えていることを理解させた上で、話し合う。 ・話し合いをするときは、グループで行う。 ・話し合いをするときは、グループで行う。	
結論 5	15. 高い自己肯定感と社会参画への意識の相関関係を再確認する 前回の道徳の授業では、高い自己肯定感と社会参画への意識の相関関係があることがわかりました。高い社会参加の意識に加え、日本社会への希望を強く感じれば移民の受け入れに肯定的であるという専門家の意見もあります。 16. まとめ 2回にわたり「自己肯定感と社会へのつながり」を考えてきました。今後、みなさんが担う社会において、多文化共生への理解を深めつつ「何らかの形で役に立とう」と思えるようになるといいですね。		・授業を振り返り、今の自分の考えをワークシートに書かせる。